

©Claudia Hershner



原田慶太楼 指揮 Keitaro Harada

東響正指揮者、愛知室内オーケストラ首席客演指揮者兼アーティストック・パートナー、米国サヴァンナ・フィル音楽&芸術監督であり、2025年7月からデイトン・フィルとデイトン・オペラ & バレエの音楽・芸術監督にも就任する、国際的に目覚しい活躍を続ける期待の俊英。オペラでもジューズ・レヴァインやロリン・マゼールのアシスタントを務め、アリゾナ、ノースカロライナ、シンシナティ、ブルガリア国立歌劇場などで脚光を浴び、最近では日生劇場ドニゼッティ「連隊の娘」でも舞台を力強く牽引しオペラ指揮者としての資質を感じさせた。タングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、米国ショルティ財団のキャリア支援賞6度と日本人で初めてトップのコンダクター賞を受賞。キャッソルトン・フェスティバルにロリン・マゼールから、PMFにはファビオ・ルイジから招待を受け参加。第29回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。オフィシャル・ホームページ: kharada.com/ @KHconductor



篠崎史紀 ヴァイオリン Fuminori Shinozaki

愛称 "まろ"。3歳より両親の手ほどきを受け、1981年ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾る。その演奏は、「信頼性のあるテクニック、遊び心もある音楽性」「真珠を転がすような丸く鮮やかな音色、魅惑的な音楽性」と各メディア紙から称賛される。その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たしヨーロッパを中心にソロ、室内楽と幅広く活動。88年帰国後、群響、読響のコンサートマスターを経て、97年N響のコンサートマスターに就任。以来「N響の顔」として国内外で活躍する。ヨーロッパ公演では、The Classical Sourceより「コンサートマスターの篠崎は言葉にならないくらい神がかった」「篠崎のカリスマ的な姿は、銀白の鎧をまとった戦士のようにもあり、全てを統括していた」と評される。2004年より銀座・王子ホールでスタートした「MARO ワールド」。このシリーズから弦楽合奏団「マロカンパニー」が結成された。これらの功績により、「2020 年度第33回 ミュージック・ベンクラブ音楽賞」受賞。その他、79年史上最年少で北九州市民文化賞、2001年福岡県文化賞、2014年有馬賞受賞。桐朋学園、昭和音大で後進の育成にも力を注いでいる。WHO国際医学アカデミー・ライフハーモニーサイエンス評議会議員。使用楽器は1735年製ストラディバリウス(株)ミュージック・プラザより貸与。

©Ayako Yamamoto



松田華音 ピアノ Kanon Matsuda

6歳よりモスクワで学ぶ。ロシア最高峰の名門、グネーシン記念中等(高等)学校で学び、スクリャービン記念博物館より2011年度「スクリャービン奨学生」に選ばれ、外国人初の最優秀生徒賞を受賞し首席で卒業。モスクワ音楽院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学、2019年6月首席で卒業。2021年モスクワ音楽院大学院修了。これまでにミハイル・ブレトニョフ、ワレリー・ゲルギエフ、アンドレア・バッティストーニ、ピエタリ・インキネン、秋山和慶、井上道義、円光寺雅彦、尾高忠明、小林研一郎、高関健、飯森範親各氏の指揮の下、ロシア・ナショナル管弦楽団、マリインスキー歌劇場管弦楽団、プラハ交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演。2020年12月には井上道義氏指揮NHK交響楽団と伊福部昭作曲リトミカ・オスティナータを、2021年11月にはNHK音楽祭にて飯森範親氏指揮日本センチュリー交響楽団とシCHEDリン作曲ピアノ協奏曲第1番を演奏し、どちらも全国放送され、高く評価された。最近では室内楽にも取り組むなど、活動の場を拡げている。ドイツ・グラモフォンより2枚のアルバムをリリース。2018年かがわ21世紀大賞受賞。公式HP: <https://www.japanarts.co.jp/artist/kanonmatsuda/>

播磨国吹奏楽団

HARIMA-NO-KUNI WIND ORCHESTRA

2020年7月、新型コロナウイルス感染症をはじめさまざまな困難に立ち向かっている方々にエールを送るため、姫路市と親交の深いフランスが舞台の物語「レ・ミゼラブル」をテーマに動画を制作する「音楽のまち・ひめじ 姫路レミゼプロジェクト」を実施。「レ・ミゼラブル」吹奏楽版を収録するために、指揮に飯森範親、姫路・阪神間を拠点に活躍するプロ管打楽器奏者が集結。「民衆の歌」部分には小林沙羅、コロン・エリカ、May J.、丘みどりなどの有名歌手や市民合唱団の歌声を追加編集し、姫路市のYouTubeチャンネル「ひめじ動画チャンネル」で公開したところ、再生回数5万回超えの好評を博した。2021年には、佐渡裕、エリック・ミヤシロをゲストに迎え、兵庫芸術文化センター管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団からも協力メンバーが加わり、姫路市文化センター大ホールにて第1回目の演奏会を開催。2022年、2023年には「ジョン・ウィリアムズ」ウインド・オーケストラ・コンサート(兵庫県立芸術文化センター)に出演し、2年連続完売となった。その力強くも繊細な音色は唯一無二であり、今後の活動展開が期待されている。



アクリエひめじ

〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町143-2

JR「姫路駅」・山陽電車「山陽姫路駅」より徒歩約15分
専用駐車場は台数に限りがございますので、
できるだけ公共交通機関をご利用ください。



空井仁美 司会 Hitomi Sorai

広島県三原市出身。大阪芸術大学演奏学科ピアノコース卒業。卒業後はイベント事務所に所属し、各種ステージイベントでMC経験を積む。2018年に仕事の幅を広げたいと考えフリーアナウンサーとして独立。自身がピアノを専攻していたことから、コンサートの司会やライブMC、

グレンデラジオDJなど音楽に携わる仕事をメインとして活動するようになる。その他にもスポーツアナウンスやモーターサイクルイベント、トークショー、式典など、現在さらに活躍の幅を広げている。

注意事項(必ずお読みください)

※未就学児童のご同伴やお子様を膝の上に乗せてのご鑑賞はご遠慮ください。

※出演者、曲目、曲順、内容が変更になる場合がございます。

※公演中止の場合を除き、入場券ご購入後のお申し込み内容の訂正やご予約の取り消し、
また入場券ご購入後の変更や払い戻しは一切できませんので、予めご了承ください。

※演奏中の入退場、写真撮影、録音等は固くお断り申し上げます。